

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化のための取り組みを進めてきたがグレーゾーンといわれる不適切ケアにあたりと考えられる事柄がいくつか確認されている	引き続き不適切ケアの現状を確認し分析しその解消をめざす	月1回の職員会議と3ヶ月に一度の検討委員会を通して細部にわたり検討を進める。確認された不適切ケアについてはその改善策を定め会議のたびにその検証を行いながら改善していく	12ヶ月
2	35	災害時の備えとして保管している発電装置や備蓄用品が常に使用可能な状態にあるか、充分であるか点検が不十分などときがある。また突然の事態や長期化に対応が継続できるか不安がある	災害時の備えを常に点検するとともに一施設では困難な設備や利用者の安全確保のため行政の協力を求めるとともに近隣の他施設との連携を進める	備えの点検を毎月1度は実施する 停電などの緊急災害時、発電機の確保のため備えのある自治体に要請し発電機を借り受けたり備蓄物品が不足した場合の供給を行政、他施設に協力を求めて乗り切る。他施設の非常時には可能な協力・援助を行う	12ヶ月
3	26 27	ケース記録、アセスメントシート、サービス計画、モニタリング記録と一連の記録がまとめられておらず記録としても不十分で整理できていない	必要なケアが計画に基づいて円滑に実践され検証されていくよう記録の整備と整理に全職員で取り組む	ケースの記録記入をまとめてせずその都度記録するよう習慣化する アセスメントに基づき計画に漏れがないか確認しつつ全員が共通認識をもち取り組めるよう記録の書き方も修正していく	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月